

～地元農村公園公社による耕作放棄地を利用した赤そば栽培～

群馬県みなかみ町

取組主体:(財) みなかみ農村公園公社

取組開始時期:平成24年8月

解消面積:47a(平成24年8月時点)

導入作物:赤そばなど

1. 取組のきっかけ・経緯

解消地区であるみなかみ町須川地区は、古くから養蚕地帯であったが、養蚕の衰退とともに耕作放棄地(放置された桑園)が目立つようになった。当地区は農村景観を活用した農村体験ができる「たくみの里」内であるため、農村の景観を守ることを目的として、「たくみの里」内の道の駅等の施設を運営するみなかみ農村公園公社が耕作放棄地解消に取り組むこととなった。

2. 取組内容

平成24年度に耕作放棄地再生利用交付金を活用し、平成24年度に47aの耕作放棄地を解消。解消後は、菜の花の種を撒き菜の花をすき込み土壌改良を行い、石が多い土地であるため果樹栽培には適していないことから赤そばの栽培を始めた。収穫した赤そばは、たくみの里内でのそば打ち体験に使用した。平成26年度には土壌調査を実施し、解消地の一部にオリーブの試験栽培を実施している。

3. 今後の課題・予定など

過疎化・高齢により労働力の不足が懸念されている。今後も遊休農地の解消をしていく予定であり、近隣にある遊休農地2aを解消する予定である。また、今後土壌調査を実施しボイセンベリーの試験栽培も取り組む予定である。

4. 活用した補助事業

(国)耕作放棄地再生利用交付金(補助内容:耕作放棄地に繁茂した草木の除去・処分)



再生前



再生後